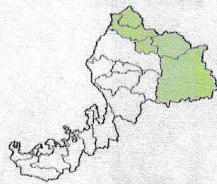


# 嶺北

題字・吉村 柑那  
(東十郷小6年)



奥越 / 坂井

## コウノトリ題材に紙芝居

坂井市春江町大石地区に飛来、営巣した国の特別天然記念物コウノトリを題材にした紙芝居がこのほど完成した。同地区まちづくり協議会協力の下、元保育士の女性が丹念に取材しまとめた。

同地区では2019年4月、コウノトリのペアが飛来し、電柱上に営巣。県内で58年ぶりとなる野外繁殖に成功し4羽のひなが巣立った。

作画・文を担当したのは、元

坂井・大石地区まちづくり協



大石地区に飛来したコウノトリを題材に完成した紙芝居を手にする田島さん(右)と河戸会長。坂井市大石コミュニティセンター

### 元保育士が作画・文 飛来時に感動、丹念取材重ね

保育士の田島のり子さん(73)は同市三国町。当時、コウノトリが巣作りや子育てする姿に感動、多くの人にその生態を知ってもらおうと紙芝居作りを決めた。

紙芝居はコウノトリを主役にし、実話に基づいた物語。昨年8月、ころから県の獣医師や地元住民、北陸電力送配電などの関係者を取材し、営巣や産卵、餌やり、巣立ちなどの様子を分かりやすく表現した。マジックとパステルで柔らかく描き、本文の下には注釈として巣作りやふ化の日程、卵の大きさなどを盛り込み、読み手の裁量で解説できるようにした。

紙芝居は縦27センチ横39センチの14枚で構成、同協議会から部作った。河戸明会長は「紙芝居が出来上がり、またコウノトリが来たように感じる。今後の活動のキーワードにしたい」と話した。

春江図書館に1部、大石コミュニティセンターに2部寄贈し、それぞれ貸し出し用として使われる。大石小と春江北幼稚園にも1部ずつ贈った。

(東村淳悟)